

# 柏市 GIGA スクール



## 基本 コンセプト

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる  
～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本的な資質・能力を育てる～

## 目指す児童生徒像

生涯にわたって**学び続け**、  
未来の柏をつくる

- 予測困難な社会の変化を前向きに受け止め、多様な人々と協働しながら様々な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる
- 学習の基盤となる情報活用能力を育成し、自ら学ぶ力を身に付け、生涯にわたって学び続けることができるようにする

## 取り組み

社会につながる活用  
～ **情報活用能力育成**を目指した授業改善を通して ～

これまでの  
教育実践



学習活動の一層の充実  
主体的・対話的で深い学びの視点をもった授業改善

- 柏市としては、Stepを設定し、児童生徒が段階的に経験を重ね、学んだことを使い鍛える中で、基本的なスキルを身に付けられるようにしていきます。
- 様々な場面でICTを活用し、情報を収集、整理、比較検討していく中で、情報活用能力を育成していきます
- 指導者は基礎となる点を指導し、児童生徒がそれを繰り返し活用しながら、深い学びへとつなげていく…その過程で、学び方、知識の活用の仕方を身に付けていきます

## 環境

**1人1台**端末  
学びの環境整備

### GIGAスクール環境

- 1人1台のタブレット端末
- 高速大容量のネットワーク環境
- クラウド活用

### 令和の時代の学びへ

タブレット端末を、えんぴつやノートと同じ  
**文房具のように、いつでも必要な時に  
自分で選択して活用する**



# 自ら学び続ける力

## Step3 教科の学びをつなぐ

情報活用能力の発揮

探求的な学び

### 自己調整

(様々場面でも)

### 自己制御

(同じ場面で)

### 模倣

(実践を繰り返し精緻化)

### 観察

(スキルや方略の理解)

### 受動

(言われたとおりに)

段階的に子どもも主体へ

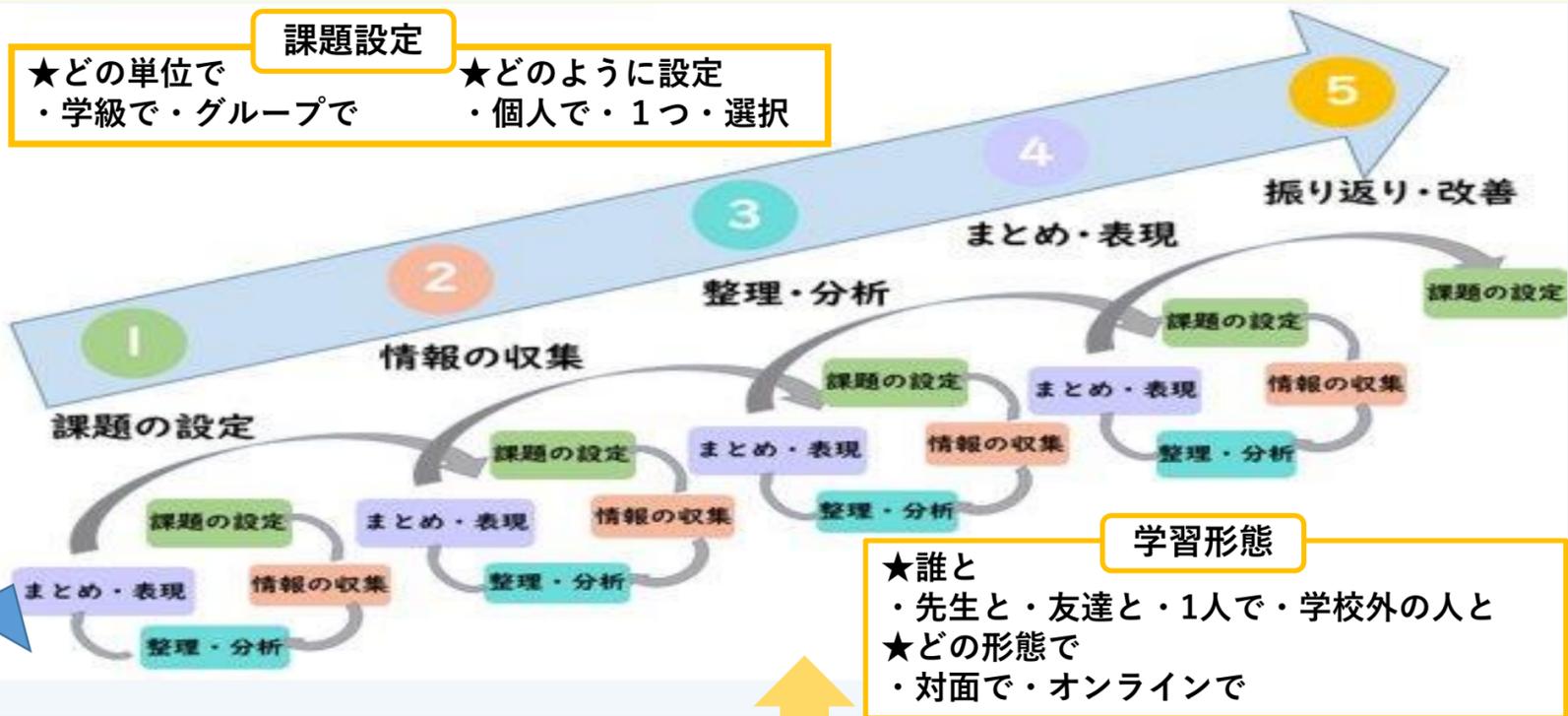
一人一人を  
主語に

R6

### 課題設定

★どの単位で  
・学級で・グループで

★どのように設定  
・個人で・1つ・選択



### 学習形態

★誰と  
・先生と・友達と・1人で・学校外の人と  
★どの形態で  
・対面で・オンラインで

学びの質の向上  
学び方を学ぶ

R5

## Step2 教科の学びを深める

教科の見方・考え方

情報活用能力の育成

課題の設定  
情報の収集  
整理・分析  
まとめ・表現  
振り返り・改善

場面での活用

R4

## Step1 すぐにでも どの教科でも 誰でも活かせる

個に応じた学び

協働的な学び

一体的に充実

## Step0 いつでもちょこっと使う

### 朝

今日の予定  
今日の目標  
今日の天気  
今日は何の日  
オンラインドリル

### 休み時間

日誌記入  
スキルアップ  
オンラインドリル

### 授業

デジタル教材の利用  
授業の振り返りの蓄積  
調べ学習  
動画を見る  
オンラインドリル  
写真の提示

R3

### 支える土台

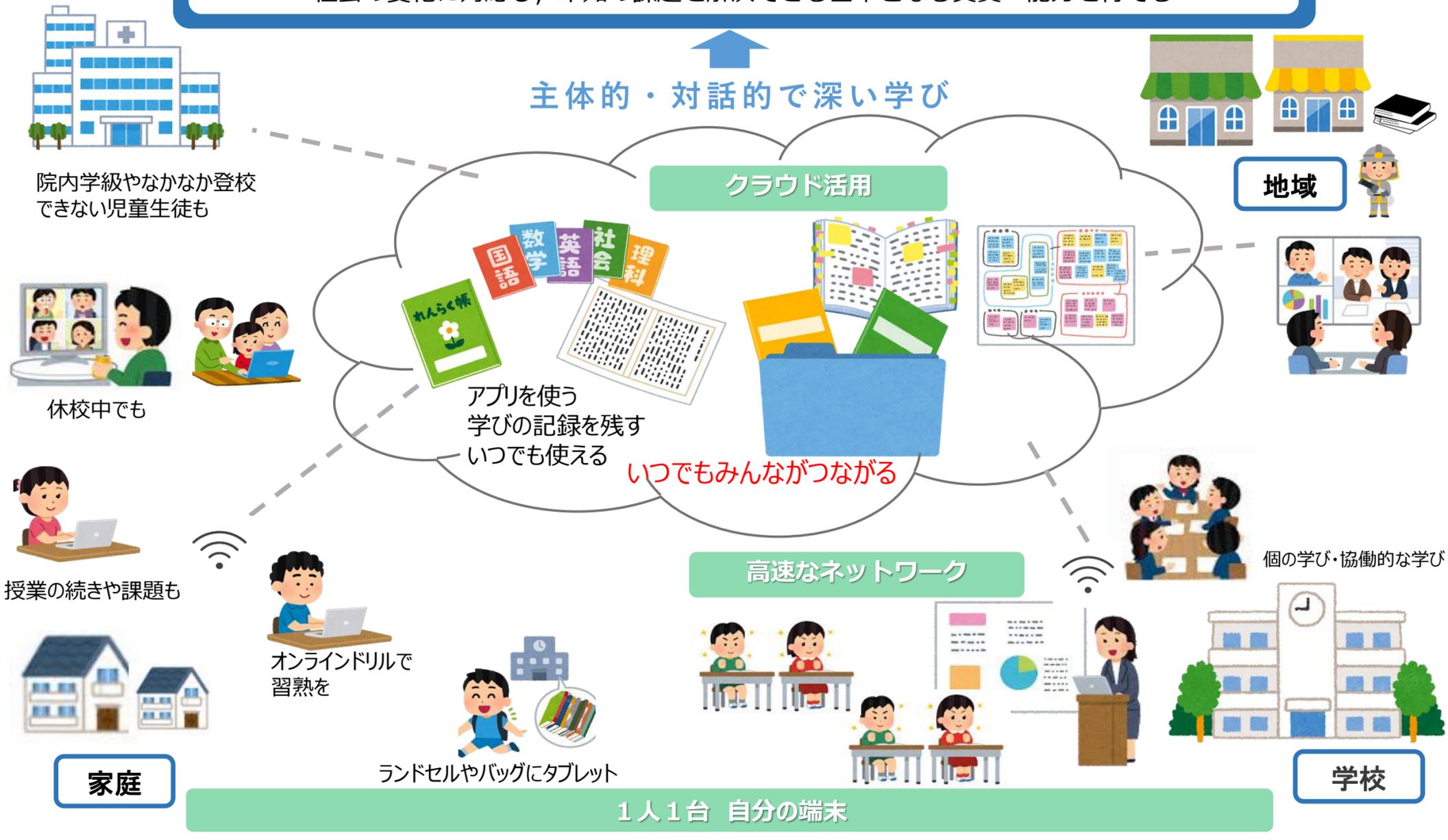
・ICT支援員の配置

・1to1委員会の実践

・柏市GIGAWebや掲示板にて情報の提供等

# 学びの環境

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる  
 ～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本となる資質・能力を育てる～



## 令和6年度計画 Step3の実施に向けて

柏市の先生が柔軟に、1人1台端末を活用した授業が実施できることを目指します

		R5 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経験を重ねる ↑	<b>Step3</b> 学びをつなぐ	情報活用能力の発揮、探究的な学びの実現（一人一人の子どもを主語とした学び、学びの自己調整）											
	<b>Step2</b> 学びを深める	情報活用能力の育成（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返り・改善）											
	<b>Step1</b> 各教科での簡単な活用	Step0の経験を生かして各教科の学習に取り入れる（7つの学習場面の意識、個の学び・協働的な学びの一体的な充実）											
体験する 使う ↑	<b>Step0</b> 日常的な活用	朝の会、朝学習の時間、休み時間、授業、委員会、係活動、家庭学習等の日常的な活用											
	情報活用研修講座					10講座希望研修							
	プログラミング研修講座						悉皆研修						
	ICT支援員等による校内研修	各校に常駐するICT支援員による希望研修											
	情報教育担当者連絡会		第1回										第2回
転入、初任者研修	希望研修	希望研修				悉皆							
環境整備	サポート体制等	ICT支援員の配置 支援体制の工夫											
		情報共有掲示板の運用											
		1人1台端末を活用した授業改善検討委員会（1to1委員会）											
		1人1台端末を活用した授業改善検討委員会による授業実践報告会リーフレットの配付											

# 教科の学びをつなぐ

## 教科の学びを深める

### 情報活用能力育成の視点を持った授業展開

1人1台端末を活用した授業改善検討委員による実践から 【例】小学5年 国語「AIの暮らし」  
身につけたい力

- ・1つのテーマに関して、目的意識をもって情報を収集する力（情報の収集）
- ・利点の立場や問題点の立場に情報を整理し、根拠をもって自分の考えを組み立てる力（整理・分析）
- ・自分の主張と根拠を合わせ、説得力のある発表資料を作成する力（まとめ・表現）
- ・主張と根拠は合っているか、説得力のある工夫はあったかなど、観点をもちながら相手の意見を聞き取る力（振り返り・改善）

### 子どもたちが目的意識をもって

### 学びのプロセス

### 振り返り・改善

**振り返り改善** 作成した資料を効果的に使いながらミニディベートを行った。聞き手は、主張と根拠はつながっているかなどの視点を持ちながら、討論を聞く。formsを使って、単元の振り返りを行った。

**まとめ表現** クラゲチャートやJamboardに整理された情報を参考にしながらミニディベートの発表用資料を作成していく。

年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1人1台端末導入率	3.8%	4.0%	5.0%	5.0%	6.9%	11.8%
1人1台端末導入率	3.8%	4.0%	5.0%	5.0%	6.9%	11.8%

すでにJamboardで必要な資料は整理されているので、短時間でスライドを作成していく。

### まとめ・表現

**整理分析**

**主張** いろんな人に対応できる！

主張の根拠や理由を、詳しく文章やグラフなどの資料を使って表していく。(Jamboard)

主張の根拠や理由が妥当か同じ立場同士で確認する。相手への質問や反論も協議する。

### 整理・分析

**情報の収集**

「ミニディベート」という伝え方の手段を知り、使えるようになるという目標もあるので、今回はテーマや立場を教師側で設定し、自分の個人的な感情があまり入らないように配慮した。「事実」や「根拠」のある情報が必要だということを再確認し、情報をコラボノートに収集していった。

コラボノートのページで情報の種類を分けた。ミニディベートの際に必要な「画像」や「グラフ」などの資料も集めた。

インターネットなどから読み取って得た情報は「青色」、自分が考えた意見は「黄色」など、付箋の色で情報の種類を分けた。

### 情報の収集

**課題の設定**

ミニディベートという伝え方の形態は初めての経験なので、スライド資料を作成して、どのようなものなのかを共通理解した。

学習計画は、クラスルームに載せていつでも確認できるようにする。

ミニディベートの説明など、全体の説明で使った資料も、いつでも確認できるようにしておく。

### 課題の設定

### 学びの自己調整

何を、どのように行うか  
自己選択

- 段階的に子ども主体へ
- 自己調整 (様々場面でも)
  - 自己制御 (同じ場面でも)
  - 模倣 (実践を繰り返し精緻化)
  - 観察 (スキルや方略の理解)
  - 受動 (言われたとおりに)